

新潟市水道局建設工事総合評価方式試行要領の総合評価点算定基準

平成 21 年 1 月 8 日制定
平成 21 年 10 月 9 日改正
平成 22 年 1 月 4 日改正
平成 22 年 10 月 15 日改正
平成 23 年 12 月 15 日改正
平成 24 年 6 月 1 日改正
平成 24 年 12 月 1 日改正
平成 27 年 4 月 1 日改正
平成 30 年 4 月 1 日改正
令和 4 年 4 月 1 日改正

1 総合評価点の算定方法

総合評価点（以下「評価点」という。）は、入札参加者のうち、入札書が無効でない者及び入札価格が予定価格の制限の範囲内の者について、次の算式により算出する。

評価点＝価格評価点＋技術評価点（加算方式）

2 価格評価点と技術評価点の配点

価格評価点と技術評価点の配点は、次のとおりとする。

(1) 簡易型を適用する工事

ア 価格評価点の配点 80点

イ 技術評価点の配点 i型 23点 ii型 19点

ただし、価格以外の評価項目（技術評価項目）の選定により配点以下とすることができる。

(2) 標準型を適用する工事

ア 価格評価点の配点 70点

イ 技術評価点の配点 30点

ただし、価格以外の評価項目（技術評価項目）の選定により配点以下とすることができる。

3 価格評価点の算定方式

(1) 価格評価点は、次の算式により算定する。（小数点以下第4位四捨五入3位止）

ア 入札価格が配点基準価格以上の場合

$$\text{価格評価点} = \text{配点} \times \frac{\text{配点基準価格}}{\text{入札価格}}$$

イ 入札価格が配点基準価格未満の場合

$$\text{価格評価点} = \frac{\text{配点}}{1 + \left(\frac{\text{配点基準価格}}{\text{入札価格}} - 1 \right) \times 3}$$

- (2) 配点基準価格とは、入札参加者が入札した価格の内、制限内（予定価格以下で、新潟市水道局低入札価格調査実施要領第3条に規定する調査基準価格以上）の最低入札価格をいう。ただし、該当する最低入札価格がない場合は、調査基準価格をいう。

4 技術評価点の算定方法

技術評価点は、入札参加者が提出した技術資料により以下の方法で算定する。

(1) 簡易型を適用する工事

別表1-1(i型)・別表1-2(ii型)の評価項目及び評価基準を標準とし、これに基づいて評価した得点の合計とする。

ただし、評価項目や評価基準等は、入札参加要件や工事内容等の難易度・重要度に応じて変更できる。

(2) 標準型を適用する工事

別表2の評価項目及び評価基準を標準とし、これに基づいて評価した得点の合計とする。

ただし、評価項目や評価基準等は、入札参加要件や工事内容等の難易度・重要度に応じて変更できる。

5 配置予定技術者の能力の評価

配置予定技術者を複数とした場合、配置予定技術者の能力に係る得点は、最も低い評価を受けた者をもって算定する。

6 簡易な施工計画及び技術提案の評価

(1) 簡易な施工計画書及び技術提案書の評価は、技術評価委員会の委員の中から委員長が指名した委員が、入札参加者名等を伏せてそれぞれ個別に行う。

(2) 簡易な施工計画及び技術提案に係る得点は、評価内容ごとに各委員の評価による得点の平均点を算出（小数点以下第3位四捨五入2位止）し、その平均値を合算したものとす。

7 特定共同企業体の実績等の評価

特定共同企業体（以下、「企業体」という。）の施工実績及び工事成績等の評価については、次のように取り扱う。

A) 企業体の構成員の実績がある会社が単独で入札に参加する場合

(1) 施工実績について

同種・類似工事の施工実績を評価するとき、企業体の施工実績は、出資比率にかかわらずその企業体のすべての構成員の実績と認める。

例：A社（代表者）、B社、C社の3社が企業体を構成し、建築延べ床面積5,000㎡の工事を施工した場合の同種・類似工事の施工実績は、A社（代表者）、B社、C社のそれぞれが、建築延べ床面積5,000㎡の工事の実績があると認める。

(2) 配置予定技術者の施工実績について

配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績を評価するとき、企業体の出資比率にかかわらずその企業体のすべての構成員の配置予定技術者の実績と認める。

(3) 工事成績について

工事成績を評価するとき、企業体の工事成績評定点は、出資比率にかかわらず対象としない。

B) 企業体として入札に参加する場合

技術評価点のうち、簡易な施工計画は企業体としての提案を評価し、その他は企業体の代表者のみの評価項目をもって評価する。

8 工事成績評定の減点

簡易な施工計画書及び技術提案書に記載された内容が、受注者の責により満足できない場合は、工事成績評定点の減点を行う。減点値は、次の算式により算定する。

$$\text{減点値} = 8 \text{点} \times (\alpha - \beta) / \alpha \text{ (小数点以下第1位四捨五入整数止)}$$

α : 落札時の技術評価点

β : 達成度合いに応じて簡易な施工計画及び技術提案に係る得点を再計算した技術評価点

※ 8点 : 新潟市水道局工事成績評定実施要領の考査項目「法令遵守等」の文書注意相当

総合評価(簡易 i 型)評価項目及び評価基準

①工事の施工能力 【技術評価点の最高23点】

| 評価項目 | 必須選択 | 評価内容 | 評価基準 | 配点 | 得点 |
|------------------|------|--|--|----------------------|----|
| 簡易な 施工計画 | 必須 | 解決策の効果 | 特に優れた効果がある。 | 4.5 | /6 |
| | | | 一般的又は期待した効果がある。 | 2.0 | |
| | | | ほとんど効果がないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 課題の理解度 | 課題を工事内容や現場条件等も合わせて考えて的確に理解している。 | 0.5 | |
| | | | ある程度理解している。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど理解していないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 課題解決に対する意欲 | 現場をよく調査した内容であり、強い意欲を感じる。 | 0.5 | |
| | | | 強くも弱くもない一般的な意欲である。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど意欲を感じないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 独自性 | 効果が期待できるもので、しかも他社にない独自の工夫や発想の転換がある。 | 0.5 | |
| | | | 他社にない独自の工夫とまではいえないが、自社あるいは自分の知識や経験に基づいて工夫している。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど工夫が見られないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| 工事成績 | 必須 | 新潟市水道局における平成17年度(新潟市合併)以降集計済み工事成績の最新3工事分の平均点a(小数点以下第3位四捨五入2位止) | 85点以上 | 5.0 | /5 |
| | | | 65点以上85点未満 | $(a-65) \times 0.25$ | |
| | | | 65点未満(マイナス評価とする) | $(a-65) \times 0.5$ | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 総合評価方式受注件数(減点方式) | 必須 | 総合評価方式簡易 i 型における当該年度の受注件数 | 受注実績が無い | 2.0 | /2 |
| | | | 受注件数が1件ある | 1.5 | |
| | | | 受注件数が2件ある | 1.0 | |
| | | | 受注件数が3件ある | 0.5 | |
| | | | 受注件数が4件以上ある | 0 | |
| 同種・類似工事の施工実績 | 必須 | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 1.0 | /1 |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 配置予定技術者の能力 | 必須 | 主任(監理)技術者の有する資格 | 工事を施工しうる国家資格を有する者(1級又は2級の国家資格)又は技術士の資格を有する者。 | 1.0 | /2 |
| | | | 上記以外の資格 | 0 | |
| | | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 1.0 | |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| 配置予定技能者の能力 | 選択 | 作業従事技能者の有する資格 | 日本水道協会が主催する配水管工技能講習会を修了している者。又は、同等以上の資格を有する者。 | 1.0 | /1 |
| | | | 上記以外の資格を有する。 | 0 | |

②地域貢献度

| | | | | | |
|--------------|----|---|------------------------------------|-----|----|
| 地域内 拠点 | 選択 | 事業所(本社)の存否 | 事業所(本社)が新潟市内に存在する。 | 2.0 | /2 |
| | | | 事業所(本社)が新潟市内に存在しない。 | 0 | |
| 災害時等 活動実績 | 選択 | 過去15ヶ年度における新潟市水道局に関わる災害時活動の実績がある。又は、新潟市水道局の夜間等緊急配水管修繕業者に登録している。 | 災害時活動の実績がある。又は、夜間等緊急配水管修繕業者に登録がある。 | 2.0 | /2 |
| | | | 実績及び登録がない。 | 0 | |
| | 選択 | 前年度における新潟市水道局施設の緊急対応又は配水管等修繕実績がある。 | 実績あり | 1.0 | /1 |
| | | | 実績なし | 0 | |

③客観的な優良性

| | | | | | |
|-------------|----|---------|--|-----|----|
| ISO等の 認証 | 選択 | 認証取得の有無 | ISO9001, 環境認証制度(ISO14001又はエコアクション21)の認証を受けている。 | 1.0 | /1 |
| | | | 認証なし。 | 0 | |

総合評価(簡易 ii 型)評価項目及び評価基準

①工事の施工能力

【技術評価点の最高19点】

| 評価項目 | 必須選択 | 評価内容 | 評価基準 | 配点 | 得点 |
|------------------|------|--|---|----------------------|----|
| 簡易な 施工計画 | 必須 | 解決策の効果 | 特に優れた効果がある。 | 4.5 | /6 |
| | | | 一般的又は期待した効果がある。 | 2.0 | |
| | | | ほとんど効果がないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 課題の理解度 | 課題を工事内容や現場条件等も合わせて考えて的確に理解している。 | 0.5 | |
| | | | ある程度理解している。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど理解していないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 課題解決に対する意欲 | 現場をよく調査した内容であり、強い意欲を感じる。 | 0.5 | |
| | | | 強くも弱くもない一般的な意欲である。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど意欲を感じないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| | | 独自性 | 効果が期待できるもので、しかも他社にない独自の工夫や発想の転換がある。 | 0.5 | |
| | | | 他社にない独自の工夫とまではいえないが、自社あるいは自分の知識や経験に基づいて工夫している。 | 0.3 | |
| | | | ほとんど工夫が見られないか又は記述量が非常に少ない。 | 0 | |
| 工事成績 | 必須 | 新潟市水道局における平成17年度(新潟市合併)以降集計済み工事成績の最新3工事分の平均点a(小数点以下第3位四捨五入2位止) | 85点以上 | 5.0 | /5 |
| | | | 65点以上85点未満 | $(a-65) \times 0.25$ | |
| | | | 65点未満(マイナス評価とする) | $(a-65) \times 0.5$ | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 総合評価方式受注件数(減点方式) | 必須 | 総合評価方式簡易 ii 型における当該年度の受注件数 | 受注実績が無い | 2.0 | /2 |
| | | | 受注件数が1件ある | 1.5 | |
| | | | 受注件数が2件ある | 1.0 | |
| | | | 受注件数が3件ある | 0.5 | |
| | | | 受注件数が4件以上ある | 0 | |
| 同種・類似工事の施工実績 | 必須 | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 1.0 | /1 |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 配置予定技術者の能力 | 必須 | 主任(監理)技術者の有する資格 | 工事を施工しうる国家資格を有する者のうち, 1級の国家資格者を有する者又は技術士の資格を有する者。 | 1.0 | /2 |
| | | | 上記以外の資格 | 0 | |
| | | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 1.0 | |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| 実績なし | 0 | | | | |

②地域貢献度

| | | | | | |
|-----------|----|------------|---------------------|-----|----|
| 地域内 拠点 | 選択 | 事業所(本社)の存否 | 事業所(本社)が新潟市内に存在する。 | 2.0 | /2 |
| | | | 事業所(本社)が新潟市内に存在しない。 | 0 | |

③客観的な優良性

| | | | | | |
|-------------|----|---------|--|-----|----|
| ISO等の 認証 | 選択 | 認証取得の有無 | ISO9001, 環境認証制度(ISO14001又はエコアクション21)の認証を受けている。 | 1.0 | /1 |
| | | | 認証なし。 | 0 | |

総合評価(標準型)評価項目及び評価基準

①技術提案

【技術評価点の最高30点】

| 評価項目 | 必須選択 | 評価内容 | 評価基準 | 配点 | 得点 |
|---|------|--|---|------|-----|
| 総合的なコスト削減に関する技術提案 | 選択 | ライフサイクルコスト及びその他コストに関する技術提案内容について | <ul style="list-style-type: none"> 提案数値による定量評価 提案内容による定性評価 (優/良/可の判定等) | 0~10 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ▼ライフサイクルコストに関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・構造物の維持管理費 ・非常用自家用発電機の燃料消費率 ・変圧器の変換損失率 ・建築物の保全費用 等 ▼その他コストに関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・補償費の生じる期間の短縮日数 ・補償費の支出額 等 | | | |
| 社会的要請への対応に関する技術提案 | 選択 | 社会的要請への対応に関する技術提案内容について | <ul style="list-style-type: none"> 提案数値による定量評価 提案内容による定性評価 (優/良/可の判定等) | 0~10 | /10 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ▼環境の維持に関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・施工騒音の低減値 ・工事排水のSS値(浮遊物質) 等 ▼交通の確保に関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制(通行止め, 車線規制等)の短縮日数 等 ▼特別な安全対策に関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・工事中における歩行者通路幅 等 ▼資源対策又はリサイクル対策に関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら利用率 ・間伐材, 伐開除根材のリサイクル率 ・分別解体, 現場内集積の対象項目, 重量 等 | | | |
| 工事目的物の性能・機能の向上に関する技術提案 | 選択 | 工事目的物の性能・機能の向上に関する技術提案内容について | <ul style="list-style-type: none"> 提案数値による定量評価 提案内容による定性評価 (優/良/可の判定等) | 0~10 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ▼性能・機能に関する具体的な評価項目例 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装構造提案による走行騒音値 ・単位時間あたりのポンプ排水量 ・建築物の断熱性能 等 | | | |
| 技術提案に係る具体的な施工計画 | 必須 | 技術提案の実現性, 有効性を確認するための施工計画の適切性 <ul style="list-style-type: none"> ・与条件との整合性 ・技術的裏付け 等 | 施工計画が現地の環境条件(地形, 地質, 環境, 地域特性等)を踏まえて適切であり, 優位な工夫が見られる。 施工計画が現地の環境条件を踏まえており適切である。 不適切ではないが, 一般的な事項のみの記載となっている。 | 0~6 | /6 |
| ※技術提案の評価項目については, 3項目のうち1項目を必須とし, 案件ごとに具体的な評価項目を定める。 ※各評価項目(技術提案及び施工計画)に係る評価基準及び配点については, 案件ごとに具体的に定める。 ▼《評価項目:交通規制の短縮日数とした場合》提案数値による定量評価の具体事例 例:最大の提案者に10点を付与し, 最小の提案者を0点として, その間の数値の提案者には提案値に応じて按分した点数を付与 ▼《評価項目:施工騒音の低減値とした場合》提案内容に対する定性評価の具体事例 例:提案のあった低減対策の有効性を比較検討し, 「優10点/良6点/可2点」と判定 | | | | | |

②工事の施工能力

| 評価項目 | 必須選択 | 評価内容 | 評価基準 | 配点 | 得点 |
|--------------|------|--|---|----------------------|----|
| 工事成績 | 必須 | 新潟市水道局における平成17年度(新潟市合併)以降集計済み工事成績の最新3工事分の平均点a(小数点以下第3位四捨五入2位止) | 85点以上 | 5.0 | /5 |
| | | | 65点以上85点未満 | $(a-65) \times 0.25$ | |
| | | | 65点未満(マイナス評価とする) | $(a-65) \times 0.5$ | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 同種・類似工事の施工実績 | 必須 | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 1.0 | /1 |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| | | | 実績なし | 0 | |
| 配置予定技術者の能力 | 必須 | 主任(監理)技術者の有する資格 | 工事を施工しうる国家資格を有する者のうち, 1級の国家資格者を有する者又は技術士の資格を有する者。 | 0.5 | /1 |
| | | | 上記以外の資格 | 0 | |
| | | 過去15ヶ年度の同種・類似工事の施工実績(案件ごとに具体的に定める) | 国, 旧公団, 県, 政令市, 新潟市の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.5 | |
| | | | 上記以外の発注工事の元請施工実績がある。 | 0.25 | |
| | | | 実績なし | 0 | |

③地域貢献度

| | | | | | |
|----------|----|--|-------------------------------------|-----|----|
| 地域内拠点 | 選択 | 事業所(本社)の存否 | 事業所(本社)が新潟市内に存在する。 | 2.0 | /2 |
| | | | 事業所(本社)が新潟市内に存在しない。 | 0 | |
| 災害時等活動実績 | 選択 | 過去15ヶ年度における新潟市水道局に関わる災害時活動の実績がある。又は, 新潟市水道局の夜間等緊急配水管修繕業者に登録している。 | 災害時活動の実績がある。又は, 夜間等緊急配水管修繕業者に登録がある。 | 2.0 | /2 |
| | | | 実績及び登録がない。 | 0 | |
| | 選択 | 前年度における新潟市水道局施設の緊急対応又は配水管等修繕実績がある。 | 実績あり | 1.0 | /1 |
| | | | 実績なし | 0 | |

④客観的な優良性

| | | | | | |
|---------|----|---------|---------------------------------------|-----|----|
| ISO等の認証 | 選択 | 認証取得の有無 | ISO9001の認証を受けている。 | 1.0 | /2 |
| | | | 認証なし | 0 | |
| | | | 環境認証制度(ISO14001又はエコアクション21)の認証を受けている。 | 1.0 | |
| | | | 認証なし | 0 | |